

1級建築(実地試験)出題内容 (H30年度)

出題数	必要解答数
6問	6問

※記述式、全問必須

問題 1	施工経験記述
	受験者の実務経験の有無と施工管理能力が判定される重要な問題であり、自身が経験した建築工事の中から1つ選び、「品質管理」、工程管理、「建築副産物対策」等の課題に関して、現場で行った取組みや活動等について具体的に記述する。
	工事経験に照らして、与えられた課題に関する自身の考えや意見等の記述も求められる。 (H30年度)
問題 2	<p>仮設・安全に関する問題</p> <p>これまでの経験や知識を踏まえて、建築工事における、「災害防止」や「施工計画」上の留意又は検討すべき事項や対策等について具体的に記述する。(H30年度)</p>
問題 3	<p>躯体施工に関する問題</p> <p>「土工事」、「地業工事」、「鉄筋工事」、「コンクリート工事」、「鉄骨工事」等から、施工上の留意事項を記述するか、施工に関する規定の間違いを指摘し適切な語句にする問題が出題されている。(H30年度)</p>
問題 4	<p>仕上げ施工に関する問題</p> <p>「防水工事」、「建具工事」、「内装工事」、「タイル工事」等から、施工上の留意事項を記述するか、施工に関する規定の間違いを指摘し適切な語句にする問題が出題されている。(H30年度)</p>
問題 5	<p>施工管理に関する問題</p> <p>平成12年以前はネットワーク工程表の読取りや品質管理の分野から出題されていたが、平成13年度より、工事工程表(バーチャート)の読取り問題が出題されている。(H30年度)</p>
問題 6	<p>法規に関する問題</p> <p>建設業法や労働安全衛生法また平成25年度から平成27年度には建築基準法から出題され、空欄に条文の語句を記入する出題が多い。(H30年度)</p>